

# 学校法人五島育英会 学校評価（自己評価）制度 2023 年度 実施計画書

学校名	東京都市大学二子幼稚園
校（園）長名	荒屋 勝寿

## 1. 第 2 期事業計画期間の教育目標

建学の精神に照らし、次の子ども像を教育目標とする

- ①（健康）たくましい子ども
- ②（知性）観察力と判断力にすぐれ、協力しあって遊ぶ子ども
- ③（風格）意欲的に 志たかく 最後までやりとげる子ども
- ④（自立）自分の思いをはっきり伝え、人の話をよく聞く子ども
- ⑤（感動と畏敬）正しいこと、美しいもの、すぐれたものに感動し素直に受け入れられる子ども

## 2. 指標（目標）とするイメージ

- ①子どもがいきいきわくわくと遊び、これからの国際社会や社会の変化に対応する「生きる力の芽生え」を育む幼稚園
- ②安心・安全な環境の下、保護者が子どもの確かな成長を感じながら楽しく子育てができる幼稚園
- ③東急グループ、東京都市大学グループ校との連携・協力が園児の健やかな成長を支えている幼稚園
- ④変貌を遂げる（進化する）二子玉川の街にお住まいの方から愛され信頼される幼稚園
- ⑤卒園児の進学割合が、公立小学校：国・私立小学校が 1：1 である幼稚園

## 3. 第 2 期事業計画達成のための重点目標・重点課題及び 2025 年度達成目標

重点目標	重点課題及び 2025 年度達成目標
I 良質な教育の実践	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある教育プログラムの開発・実践               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【課外活動の充実】 社会の変化、保護者ニーズに応える複数の課外活動が実施されている（受益者負担）</li> <li>2. 【たくましい体づくりの推進】                   <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 全園児が運動を通して体を動かす喜びを知り、健康な体づくりに取り組む</li> <li>-2 年長児の運動能力が向上している</li> <li>-3 虫歯の割合（乳歯+永久歯）が年長全体の 12%以下になっている</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>② サポート体制の充実               <p>【預かり保育の拡充・充実】</p>               預かり保育の利用延べ人数               <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 課業期間 4,200 人（月・火・木・金 3,800 人 水 400 人）</li> <li>-2 長期休業中（春期・夏期・冬期）600 人</li> </ol>               預かり保育による 年間見込収入合計額 5,200 千円 補助金見込額 1,900 千円             </li> <li>③ 教職員の人材育成・資質向上               <p>【教員研修の充実】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>-1 外部研修への積極的な参加</li> <li>-2 都市大グループ職員としての意識向上</li> </ol> </li> <li>④-1 ICT を利用した教育計画 2024 年度 ICT を活用した新しい「課題あそび」を研究開発し、実践に取り組む</li> <li>④-2 国際化計画 2024 年度 卒園時に色や動物などの簡単な英単語の理解や英語による日常の簡単な挨拶の習得</li> </ol>

Ⅱ グループ間連携の深化・拡大	<b>各学校の連携強化</b> <b>【幼大連携・学校間連携の充実】</b> -1 幼大連携による学生サポーターの年間参加者数 100 人の実現 -2 等々力中高に加えて付属小または付属中高のネイティブ教員による英語活動の実施 -3 塩尻高生徒の本幼稚園職場体験の実現 -4 付属小内部進学制度の受け入れ上限 (20 人) に近い進学者数の実現
Ⅲ 教育環境の整備・充実	<b>学習環境の整備・充実</b> <b>【安心・安全な教育環境の整備】</b> 安心・安全な保育・教育環境が整備され、園庭、保育室内に子どもたちの明るく楽しい声が響き渡っている <b>効率的業務の推進</b> <b>【ICT スキルの向上と事務用品の整備】</b> -1 園業務支援システム (パステル) 等の活用促進を図る -2 パソコン技能の向上を図る -3 事務用品の更新
募集・広報活動	<b>2025 年度目標</b> <b>志願者数</b> 男子 55 人 女子 55 人 合計 110 人

#### 4. 本年度の施策内容 (達成目標) 及び具体的な取り組み内容

<b>重点目標 I 良質な教育の実践</b>		
<b>重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践</b>		
<b>本年度の施策内容 (達成目標)</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
①新規課外活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年目を迎える課外あそびの効果測定 (評価) を行い、効果測定に基づいて改善を図る。</li> <li>・年長保育室 (やま・もり) を使用しての絵画教室、習字教室実施の可能性を調査、検討し、実現に向けて計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な効果測定ができたか。</li> <li>・計画することができたか。</li> <li>・安全な環境整備ができたか。</li> </ul>
②課外活動の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーあそび、ミュージカルあそびの運営に必要な備品を購入する。</li> </ul>	
①新しい体づくり活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正課運動あそびの検証を踏まえ、「体づくり」教育プログラムの充実を図る。</li> <li>・夏場に活動が制限されない環境づくりの調査、研究を開始する。年少、年中、年長の発達段階に合わせた運動器具や備品を購入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証と充実が図れたか。</li> <li>・具体的な検討がされたか。</li> <li>・虫歯罹患率の調査が継続できたか。</li> </ul>
②虫歯予防の取り組みの継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯罹患率の経年変化調査を継続する。</li> <li>・歯ブラシ教室を継続する。</li> </ul>	
<b>重点課題② サポート体制の充実</b>		
<b>本年度の施策内容 (達成目標)</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
①預かり保育の充実に向けた改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査の結果を分析し改善に取り組む。</li> <li>・月・火・水・木・金曜日の正課保育後に預かり保育を実施する。年少は9月以降の利用で計画する。長期休業中の預かり保育を2022年度実績数と同じく実施する。</li> <li>・預かり保育を行う保育室の机や備品を計画的に整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査を実視できたか。</li> <li>・平日の利用数が3,483名を上回ったか。</li> </ul>

重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
①外部研修会の参加 ②グループ校の視察研修を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の外部研修を行う。</li> <li>・塩尻高校、等々力中高、附属中高への各2名派遣視察研修を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延60人の参加があったか。</li> <li>・教員会議後の研修を定期的に開催できたか。</li> <li>・視察研修ができたか。</li> </ul>
重点課題④ー1 ICTを利用した教育計画		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
①ICTを活用した教育プログラムのプレ実施  ②ICT活用のための教員研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなICT教育教材の導入を調査、検討する。</li> <li>・活用のための教材化を教務部で検討する。</li> <li>・受け身ではなく、教材を活用した継続的学習の計画を立てる。</li> <li>・Kitsを使用した発表活動計画を立て、実践する。</li> <li>・Kitsをより活用するための教員研修を計画して実施する（2022年度は4回実施）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教材の検討ができたか。</li> <li>・計画を立てて実践できたか。</li> <li>・教員研修ができたか。</li> </ul>
重点課題④ー2 国際化計画		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
①サイバードリームの改善及び新たな英会話を含む発表会を企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善点を踏まえた教育計画を立てる。</li> <li>・英語の会話形式の発表会を行う。</li> <li>・サイバードリームネイティブ講師によるレッスンを計画して実施する。</li> <li>・教員研修を行い、サイバードリームの利用方法の向上を図り、英語教育の充実を目指す。</li> <li>・必要な教材や備品を購入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画を立てることができたか。</li> <li>・発表会ができたか。</li> <li>・ネイティブ講師のレッスンを定期的に実施できたか。</li> </ul>
重点目標Ⅱ グループ間連携の深化・拡大		
重点課題 各学校の連携強化		
本年度の施策内容（達成目標）	具体的な取り組み内容	評価の観点
①塩尻高校生の職場体験学習を推進 ②塩尻高校留学生との交流を検討 ③都市大生サポーターの受け入れ拡大 ④グループ校ネイティブ教員による英語活動支援の実施 ⑤内部進学制度附属小学校説明会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻高校職場体験学習を2名受け入れる。</li> <li>・職場体験学習実施の検証を行い、職場体験学習生徒受け入れの定例化を推進する。</li> <li>・国際交流という形で塩尻高校の留学生の受け入れ計画を立てる。</li> <li>・コロナの影響が減少した場合、延べ100人の学生サポーターを受け入れる。</li> <li>・附属小、等々力中高ネイティブ教員による英語活動を継続する。</li> <li>・内部進学説明会を年長、年中を対象に実施する。年少はz o o m配信予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例化推進の課題が整理できたか。</li> <li>・計画できたか。</li> <li>・各行事に昨年度以上のサポーターが参加できたか。</li> <li>・継続実施ができたか。</li> <li>・実施することができたか。</li> </ul>

<b>重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実</b>		
<b>重点課題 学習環境の整備・充実</b>		
<b>本年度の施策内容（達成目標）</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
①学習環境の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドデッキ張替えを夏季休業中に実施する。</li> <li>・園庭靴箱7クラス分を新規購入する。</li> <li>・年少長机10台を購入する。</li> </ul>	・予定通りできたか。
<b>重点課題 効率的業務の推進</b>		
<b>本年度の施策内容（達成目標）</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
①パステル利用に関する検証および改善	・入園試験 Web システム（ミライコンパス）、パステルの利用についての検証結果に基づき、分析、改善した上で継続使用する。	・システムの分析改善運営ができたか。
<b>募集広報活動</b>		
<b>本年度の施策内容（達成目標）</b>	<b>具体的な取り組み内容</b>	<b>評価の観点</b>
園則定員70名達成	説明会7回、保育見学会・施設見学会6回開催で志願者100名（男児50 女児50）を目指す。	志願者100名を達成できたか。